



① 松阪市中町のビジネスホテル「ジャストイン松阪駅前」で宿泊申し込みで訪れた不審な外国人の対応訓練をするフロント係

外国人テロ潜伏防止へ

松阪 ビジネスホテルで訓練

テロを未然に防ごうと、宿泊に訪れた不審な外国人に対応する訓練が十日、松阪市のビジネスホテル「ジャストイン松阪駅前」であった。松阪署と管内の事業所で行く「テロ対策松阪・多気・明和パートナーシップ」の活動の一環。外国人宿泊客が増える東京五輪を控え、外国人テロリストの潜伏をなくすのが狙いで、関係者十人が参加した。

訓練では、署員扮する外国人三人がホテルのフロントで片言の日本語で宿泊を希望。フロント係が本人確

認のため、旅券の提示を求めると、拒否してホテルを立ち去った。フロント係は「私は日本人」と言い張って、身分証明書の提示も拒む外国人を丁寧に説得し続けた。一方で、松阪署に通報し指示を仰いだ。

訓練後、松阪署警備課の片山裕介課長(四三)は「おおむねうまく対応できていた」と講評。「外国人が来たら、身分確認をしっかりとしてほしい。おかしいなど感じたらずぐ通報を」と改めて要望した。

(西村孝規)